

平成20年9月1日

【報道関係者各位】

データアクセス株式会社(代表取締役:香西 省治、本社:豊島区東池袋 1-47-3、2004年12月設立、以下当社)は、9月1日より、主にシステムインテグレータ様向けの新販売メニューとして、自社開発のDBMS^(※1)クラスタリング^(※2)・ソフトウェア「DB/Control(ディービー・コントロール)」と、対応するDBMSを併せて、データ設定、インストール等の導入作業や、年間サポート等を行う「コミコミプラン」を開始しました。

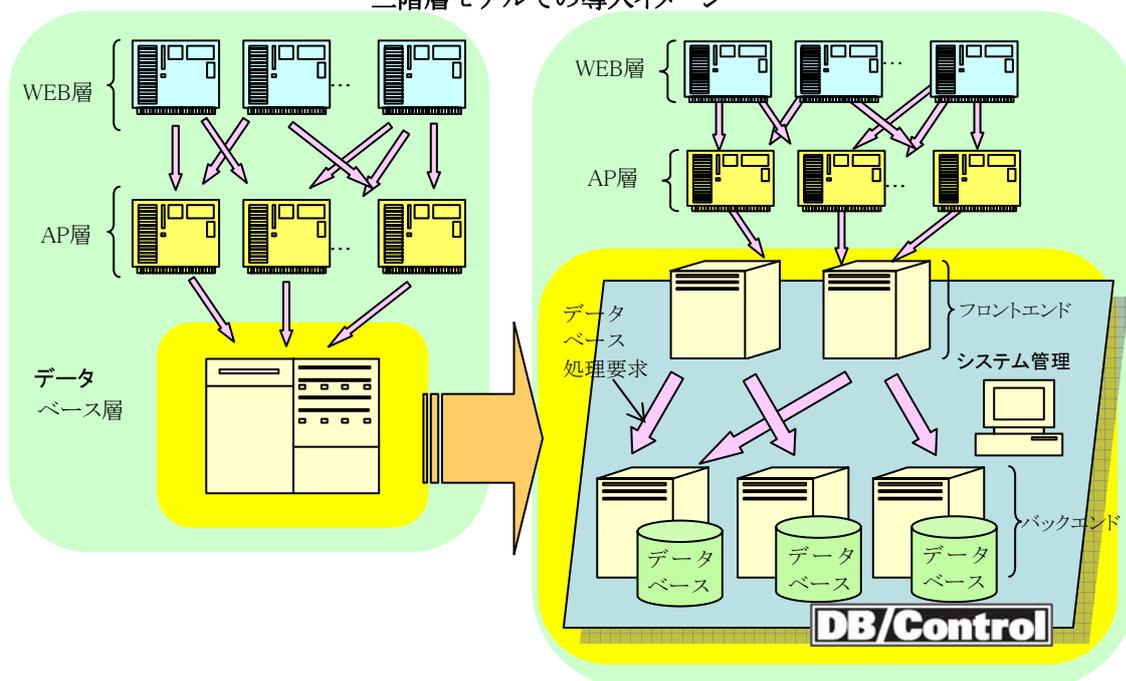
「ディービー・コントロール」は、オープン・ソース・ソフトウェア(OSS)^(※3)のDBMSを使用して、高い検索性能や高可用性(HighAvailability)^(※4)を要するデータベースシステムを構築するソフトウェアです。当社が開発した独自技術により、3階層モデル^(※5)のデータベース層をフロントエンドとバックエンドの2階層に分け、データベース検索要求への高速なレスポンスと、データベースシステムの無中断を実現します。OSSのDBMSを商用利用する場合に懸念されてきた拡張性や耐故障性の問題を解決し、導入及び運用コストの両方(TCO)の削減に貢献します。「ディービー・コントロール」は、バックエンド(データベースサーバ)用とフロントエンド用、システム管理用のソフトウェアで構成され、RedHatEnterprise 4 または 5、Solaris10 上で動作します。DBMSとして PostgreSQL^(※6)と MySQL^(※7)に対応しています。VMware 等のコンピュータ仮想化環境でも動作し、可用性の高いデータベースシステムを構築することができます。

「コミコミプラン」では、当社で「ディービー・コントロール」だけでなく、対応する PostgreSQL や MySQL を併せて、動作に必要なデータ設計やインストール、年間サポート等を行います。DBMS のサポートについては、実績豊富な SRA OSS Inc. 日本支社様等と協力して行います。

このプランのご利用により、システムインテグレータ様は、「ディービー・コントロール」と PostgreSQL や MySQL の導入・運用が容易になるとともに、「ディービー・コントロール」でこれら OSS の DBMS の適用範囲を拡大することができます。その結果、システムインテグレータ様は、システム開発における付加価値や自由度を高めることができます。

尚、「ディービー・コントロール」は、財団法人東京都中小企業振興公社の平成20年度ニューマーケット開拓支援事業対象となっております。

三階層モデルでの導入イメージ





「ディービー・コントロール」は、バックエンド間で同一内容のデータベース複製を保持するいわゆる同期型のレプリケータ^(※8)として動作します。フロントエンドは、バックエンド接続についてのロードバランシングを行う負荷分散機能を実現し、AP(アプリケーション)層からのデータベース接続要求を最適なバックエンドに割当てます。各バックエンドは、フロントエンドから受信したデータベース処理要求を分析し、データベースの変更を伴わない検索系の処理要求であれば、バックエンド上のデータベースを用いて処理します。一方、フロントエンドから受信したデータベース処理要求がデータベースの変更を伴う更新系の処理要求の場合は、他のバックエンド上でも同一の処理要求を実行し、全てのバックエンドの内容を一致させます。また、故障が発生したバックエンドは自動的にシステムから切離され、残りのサーバでサービスを継続します。これらの機能により、データベースシステムの拡張性と耐故障性の課題を解決し、TCO 削減に貢献します。

主な特長

- ・ データベース検索処理要求への高い応答性能やサービス無中断等の高可用性を要するデータベースシステムを安価に構築します。
- ・ ミドルウェアとして動作し、既存システムにも簡単に導入できます。
- ・ web ブラウザ GUI でシステム監視制御や、サービス無中断でサーバ増減設が可能。

※DB/Control の詳細は、当社ホームページ(<http://www.dacc.jp>)をご覧ください。

【データアクセス株式会社について】

データアクセス株式会社(資本金1,000万円)は、DBMSクラスタリング・ソフトウェアDB/Controlの開発・販売とDB/Controlの利用を含むネットワークビジネスコンサルティング事業、システム設計・開発事業を展開しています。なお、DB/Controlの研究開発事業計画は、東京都の「中小企業の創造的事業活動の促進に関する臨時措置法」(通称、創造法)の認定を取得し(認証番号3713号)、さらに(財)東京都中小企業振興公社の平成18年度経営・技術活性化助成事業の創造助成事業対象(No.4023)となっております。

*1 DBMS(DataBase Management System):データベース管理システム

データベースを管理し、データに対するアクセス要求に応えるソフトウェア。データの形式や利用手順を標準化し、特定のアプリケーションソフトウェアから独立させることができる。

*2 クラスタリング(clustering)

複数のコンピュータを相互に接続し、ユーザや他のコンピュータに対して全体であたかも1台のコンピュータであるかのように振舞わせる技術。システムを構成する一部のサーバが停止してもシステム全体が止まることはなく、処理を続行したまま修理や交換が行える。

*3 OSS(Open Source Software) (オープン・ソース・ソフトウェア)

ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを、インターネットなどを通じて無償で公開し、誰でもそのソフトウェアの改良、再配布が行なえるようにすること。また、そのようなソフトウェア。

*4 高可用性(HighAvailability ハイアベイラビリティ)

可用性とはシステムの壊れにくさのこと。故障が発生しにくく、故障が発生しても復旧に要する時間が短いほど可用性が高い(高可用性)と言う。具体的に高可用性には、サービス時間中のシステム無停止や無中断運転等、故障発生時を含めサービスを継続できることが要求される。

*5 3階層モデル(three tier model)別名:3ティア・モデル

主としてインターネット、ビジネスにおけるサーバ・システム構築法の1種で、サーバを用途や稼働さ



せるアプリケーションで分類し、3 階層に分けてモデル化したもの。Web 層、AP(アプリケーション)層、データベース層の 3 階層に分けることで、システム全体の拡張性を高めることが可能となる。

*6 PostgreSQL (ポストグレエスキューエルまたはポストGRES)

カリフォルニア大学バークレー校で開発された POSTGRES をベースにしたオブジェクトリレーショナルデータベース管理システム(ORDBMS)。オープン・ソース・ソフトウェア。

*7 MySQL (マイエスキューエル)

MySQL とは、1995 年にフィンランドの Michael Widenius によって開発されたリレーショナルデータベースを管理するソフトウェアの名称。オープン・ソース・ソフトウェア。高速性と堅牢性に定評がある。バージョン 5.0 で大きく機能追加された。

*8 レプリケータ(Replicator)

複数のデータベースサーバ上でデータの複製を行うソフトウェア。データ更新を全サーバで同期を取って実施する同期型と、そうでない非同期型が存在する。

※記載されている全ての製品名は各社の商標です。

■本件お問い合わせ先

・データアクセス株式会社

代表取締役 香西省治(こうさい しょうじ)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-47-3 「17 山京ビル」8 階

TEL 03-6802-5327

E-mail dbcontrol@dacc.jp

URL <http://www.dacc.jp>